



水道学生視点でPRを

松山大アイデア募る説明会

公営企業局

松山市公営企業局は水道のイメージアップにつながるアイデアを若い世代に考えてもらう取り組みをスタートさせた。今後、松山大

(松山市文京町)の学生が上水道施設の見学やグループワークを実施し、年末ごろイメージアップ戦略を発表する予定。

会計やマーケティングを学ぶ学生の視点の4割以上を水道管や

浄水場の耐震化のために利用していることなどを説明した。

水道水に関するアンケートもあり、学生は挙手で回答。細菌などの繁殖予防のため蛇口段階で塩素を一定量保持するよう義務づけられていることを知っていた人はいなかった。

柴田明希子さん(21)は「水道をもっと身近に感じられるようなアイデアを出したい」と意欲をみせていた。

(堤美佳子)